

登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。
(なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。)

意見書

有限会社 M. G. S 代表取締役 福田 憲彌 殿

児童氏名

病名 「

」

年 月 日 から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりましたので
登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関

医師名

印

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行を出来るだけ防ぐことで、一人一人の子どもが、一日快適に生活できるよう、下記の感染症についての意見書の提出をお願いします。
感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能な状態となってから登園であるようご配慮ください。

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹（はしか）	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風しん	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水ぼうそう（水痘）	発疹出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ、全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
アデノウィルス 咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 （O157, O26, H11 等）	ウィルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数か月排出される	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで